



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：小西敏文 ■副会長：富川悟 幹事：植倉一正



発行日 / 2014年2月4日

2013-2014/29

Vol.35

No. 1682

hp: <http://naraomiya-rc.jp>

E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2013-14年度当クラブテーマ

『ガバナー年度に向け
意義ある奉仕活動をしよう!』

国際ロータリー第2650地区

ガバナー 坂本 克也

「あなたの善から、
みんなの善へ」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日のお客様

- 島本 英樹 様 (京都田辺RC)
- Michael Cox様 (京都田辺RC)

会長報告

改めましてこんばんは。
 高野さん、お久しぶりでございます。久しく高野さんの声を聞いてなかったもので、安心しました。それと、鈴木さん、とにかくホームクラブにできるだけ、出席を。先週21日、創立35周年記念例会と祝賀会、実行委員の皆様、又会員の皆様のご協力により、本当無事に終らせて頂きました。ご協力有難うございました。
 本日の卓話の講師で来て頂いております産経新聞奈良版にも当日の模様を載せて頂きました。有難うございました。
 次の皆様方に対するお願いは、3月30日国立京都国際会館で行われます地区大会には全員登録させて頂いておりますので、全員参加ということで宜しくお願いします。今インフルエンザが非常に猛威を振るっており、近畿地方の二府四県では、2月に大流行の兆しがあると昨日の夕刊にも載っておりました。今日出席の皆様にはインフルエンザの心配はないとは思いますが、お孫さんなどに対しては十分注意をお願いしたいな、と思います。手洗い・うがいが対策になるらしいですが、健康には十分気を付けて頂きたいと思います。

委員会報告

多田実会計

会費納入の期限が31日金曜日となっておりますので、必ずお納め頂きたいと思います。まだ若干納めてない方がおられますので、期日までにお願い致します。2月になりますと督促をさせて頂く可能性もありますので、そういう苦勞を掛けなくて頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

例会プログラム

第30回 2月4日
通算1682回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」
「四つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. RI第2650地区国際奉仕
委員長 岩本 金悟様
テーマ
「国際奉仕の四方山話」
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第29回 1月28日
通算1681回

◎会員数 73名
 ◎出席規定免除者数 2+22名
 ◎出席義務者数 49名
 ◎欠席者 12名
 ◎出席者 52名
 ◎出席率 81.25%

第27回 1月14日
通算1679回の修正

◎会員数 73名
 ◎出席規定免除者数 3+22名
 ◎出席義務者数 48名
 ◎欠席者 10名
 ◎補填者 1+7名
 ◎出席者 63名
 ◎出席率 95.45%

社会奉仕委員会：門脇副委員長

明後日30日ですが、恒例の献血を行ないます。10：00-16：00過ぎを予定しております。近鉄奈良ビル6階献血ルームで行います。びよたまの地卵とヤクルトの商品を用意しております。是非一人でも多くの方、お誘い合わせの上、参加お願い致します。特に受付も足りない状況となっておりますので、お手伝い頂きたいと思ひます。MU扱いとさせて頂く予定です。宜しくお願ひ致します。

職業奉仕委員会：植村委員長

次の日曜日2月2日、京都テルサにて13：00-16：00まで職業奉仕講演会が開催されます。当クラブからは27名に参加頂けるといふことで、これは地区で一番多く、どうやらその場で多い順に3位迄発表して頂けるようです。ただ、席は決まっております、発表されても誰も居なくても困りますので、発表されるまではできるだけ帰られませんかようにくれぐれもよろしくお願い致します。

幹事報告

地区大会の懇親会参加及び交通手段の返事をまだして頂いていない方が多数おられるようでございます。出来るだけ早くお返事お願いします。返事がない場合は、懇親会は参加をしない、交通手段は電車で行く、というようにこちらでさせて頂きますので、宜しくお願ひ致します。

1月お誕生日・結婚記念日

★お誕生日★

4日	飯田二昭 君	5日	徳矢和士郎君	6日	箸尾文雄 君
8日	森下泰行 君	14日	渡辺英孝 君	14日	平方貴之 君
17日	武中洋勝 君	20日	楠下重郎 君		

★結婚記念日★

10日	小林一士 君	15日	渡辺英孝 君	28日	武中洋勝 君
-----	--------	-----	--------	-----	--------

卓話

産経新聞大阪本社 正論調査室大阪正論室長 河村 直哉 様

テーマ「日本再生元年」

産経新聞の大阪正論室長をさせて頂いている河村でございます。去年、高校生が弊社発行「正論」といふ雑誌に投稿をされました。当時高校3年生だったその子は海外に行って、そこで日本の国歌を歌って欲しいと言われて、その子は歌詞を知らず、その事が自分で恥ずかしくなり、同世代の高校生100人に自分でアンケートをし「日本の建国の謂れはどこにあるのか？」という項目を聞いたそうです。橿原神宮は神武天皇と皇后を御祭神にしております。神武天皇の即位がこの国の元年と古事記、日本書紀等でされている正にこの奈良の地で日本という歴史は始まった訳ですけれども、その事を答えたのは100人中僅か2人だったそうです。実は日本の戦後の体制を見直しが求められ



ていて、そこから日本の再生は始まっていくのではないかと考えています。私は奈良支局長時代に皆さんには大変お世話になったんですが、奈良には地域に根ざした暮らしがあり、その背後にはそれこそ神武天皇或はもっと前からの古い歴史があります。それが其々の暮らしの中や言葉の端々に感じられます。実は地域に根ざす、地域の中で暮らすという事は勿論そこでの歴史、習慣、文化やその中での決まり事があります。決まり事に人間というのは良く言えば財産として人間関係の糧にしているという所がある訳で、それは和洋問わずそうだと思うんです。ロータリーの職業宣言にも「職業は奉仕の1つの機会なりとに銘せよ」とございます。今何事もグローバルに動いている情報やお金があるけれど、他方人間の経済活動や暮らしというのはその地域を離れては成り立ちえないものだと私は思っております。で今実は日本が直面している色んな問題は、地域や国の根幹に関わる事柄が多いと思います。安倍政権が発足してから、右傾化と頻りに騒がれてます。しかし安倍総理のやっている事は日本という国を大事にする政治姿勢だと思います。右・左といっても非常に相対的なもので同じ人間の中私自身の中でも右の部分もあるし、それを批判的に見る左の部分も自分の中にあります。地域の見方、国家の国家観のようなものもそうだろうと思います。私は端的に自分の考えを申しますと戦後68年間は極端に社会全体が左に傾き過ぎてた時代でそれが戦後の社会からの揺り戻し、健全な回復が始まっているように思います。この極端な左にブレた戦後の日本社会を3点に絞って申し上げたいと思います。

1番の大元にあるのは、GHQの日本の占領方針に、現在まで逃れられていない事にあると思います。歴史を調べてもそう思う訳で、それはアメリカが駄目だとか言うつもりは全くないです。今の世の中で国際協調は必要で、アメリカとの関係は日本の国益上優先度の高い問題であります。去年の安倍総理の靖国参拝1つを取っても中国、韓国は勿論、以前は何も言ってこなかったのにアメリカからも失望したという声が出てくる。国際関係は重要ではありますが、只やはり国の為、命を無くされた方を国のリーダーが追悼するのは国家として無くてはならない事だと思います。このまだまだ傾いた状態、何かちょっとやろうとすると一杯声が出てくる、そんな状態に我々が今在るんだという事を自覚していかなければならないと思います。

2番目は教育です。昭和20年12月にGHQは三科指令、所謂、修身・日本史・地理を学校で教えるはいけないという指令を出します。で墨塗りの教科書が出てきます。翌年アメリカから教育使節団が来まして、1ヶ月位教育現場を視察して「神話から教えているような日本の教育は罷りならん。」となり、教育基本法で個人の自由を重視する教育になり、非常に規律がない、公を教えようとしないという状態が永らく続き、そういう事の積み重ねの中で出てきたのが学校でのイジメ等の社会現象です。こういうモラルの低下は戦後の教育の積み重ねだと思います。教育は日本を自らが貶める、自虐の教育を子供達が学んでいる状態が続いています。

あと憲法の問題です。現在の憲法は昭和21年GHQが草案を作成しました。その後マッカーサー三原則というのをを出します。1番目は天皇に関する事、2番目は国権としての戦争は放棄する、これは現在の憲法9条に脈々と残っています。最後が日本の封建的なシステムを廃止するというものでした。戦後、新しい自由と民主主義という理念を掲げて日本は再出発したけれども、それまでの社会の実情、道徳とかいったものを1回全部リセットしようとしてしまったと思うんです。で日本の社会にそぐわないような憲法を掲げ、或は個人の自由とか掲げ過ぎた。その弊害の最たるものは尖閣諸島問題であります。日本は戦力を放棄していますが、朝鮮戦争が始まって訳の分からない解釈でもって自衛隊が出来、今に至っております。でも憲法では戦力は保持しないと言いながら、現地で行われているのは軍事展開です。軍事紛争になりかねないこの状況は国際社会の現実で軍隊はどこの国でも紛争を抑止するためには必要でこれを日本は真剣にやってこなかったどころか昭和48年の長沼訴訟という住民訴訟で自衛隊は憲法違反だと判決まで出ています。この憲法の一種の矛盾、まずGHQによって作られこじ付けのような解釈で事実上の軍隊である自衛隊を何か知らない振りをして置いてきた。何か本音と建前が全く戦後の日本において分れてきてしまっている。これだけ東アジアの状況が緊迫してきたらやはり原点に立ち返って正すべきだと思います。領海法を設定して尖閣諸島は自国の領土であると最初に中国が言ったのは1992年です。今日のように挑発をエスカレートさせるまで20年は一応黙っていたんですから、その位の覚悟でいないとこれからの時代日本は骨抜きになっていくと思うんです。これは好戦的という意味ではなく協調して平和を守っていくべきだと思うんですけれども、やはり日本としてピシッと筋を通す事をしないと、中国の三戦（世論戦、心理戦、情報戦）においてどうやって勝つのかという事です。

最後が歴史認識の問題です。自分達の終戦までの歴史をどういう風に位置づけて、ちゃんと言えるのか日本人自身がそれを持ってるのかという事を考えるとまだまだだと思います。

これも1つにはGHQの方針があり、戦後「オーギル」という日本人の戦争の罪悪を周知せしめるフォーメーションプログラムを作っています。これは評論家の江藤淳氏がアメリカの文書から発見されてそれを本に纏めてます。この方針に基づいて昭和20年12月から新聞各紙で太平洋戦争史を掲載し日本軍が満州事変まで遡って、どういう侵略行為、どういう戦争犯罪をしたかと

いう事を連載したんです。そこで日本人は初めて知ったんです。そこには南京事件も出てきます。実は南京事件は人数等の解釈の論議はありますが、しかしながらそこに戦争犯罪が無かった訳では決してない。日本人の行き過ぎた犯罪行為も確認されています。そういう所に我々は非とすべきは非とする。ただ、これは是とは出来ませんけれども必要以上に自らを貶めてはいけません。

これをずっとやってきたのは戦後の日本人自身です。今非常に深刻な問題になってきていますのは、中国、韓国に日本の自虐的な歴史認識に日本の政治家も事ある毎に謝罪しておりました。よく調べもせず、従軍慰安婦の問題も然りですが、これも色々経緯があって平成4年韓国に行く直前に日本のある新聞社が慰安婦に軍の関与を示す資料が見つかったと大々的に掲載しました。これは明らかに意図的なものです。宮澤総理は当時の盧泰愚大統領に8回謝罪したそうです。翌年の河野談話でザクッと関与を認める。只これは本当にそうだったかを突き詰めていくと確たる根拠が出てないです。なのに認めたから欧米諸国もそういう事実があったと思います。そういう動きを見てアメリカなどで中国、韓国はロビー活動を盛んに仕掛けていきます。1番中国がお金を掛けていて世界抗日戦争威護連合会がカリフォルニアにあって政治家に対する働きかけと反日プロパガンダを行っています。彼らのホームページは日本でも閲覧出来ますが、そこでは南京事件等の残虐写真が一杯出てきます。これは根拠のない写真も一杯ありますがこの活動を20年間やってきています。その結果、慰安婦像がアメリカで5つほど出来、その1つであるカリフォルニアのグレンデールでは東大阪市と姉妹締結をし、高校生の交換留学をしていましたが、それが昨年中止になりました。又現地の日系人が差別に遭うという事態も出てきています。これも歴史認識は単なる過去の問題でなく、これからの子孫の問題になってきているように思います。私は徒に反発するのではなく健全な日本の発展のためには歴史認識をしっかりとやらなければならないと思います。本日橿原神宮を訪ね、又皆様の顔を拝見して益々その思いが強くなった次第であります。私の意見が全て正しくて、これを強要するつもりもありません。広く論調等を見比べて頂いて機会があれば産経新聞を開いて頂くと嬉しく思います。本日は貴重な時間を頂戴してありがとうございました。



国際ロータリー2650地区職業奉仕「講演会」

日時：2月2日
場所：京都テルサ



冬期奈良大宮ロータリー社会奉仕活動 献血キャンペーン

日時：2014年1月30日 10:00～16:00

場所：奈良近鉄ビル6F 献血センター



同好会活動

奈良大宮ロータリークラブ山歩き同好会（NOMC）第190回 登山報告

生駒山 初日の出 遥拝登山

（日時）平成26年1月1日（水）「午年」番外編

（参加者）麴谷・飯田・森下・楠原・東田・小池

早朝6時40分 生駒山に到着、日の出の時間 7時5分山頂より東の空は薄曇り。
 今年は日の出を遥拝できないかも。しばらく待つ間お酒を準備し熱燗にて新年の挨拶をする。
 7時20分 東の空が明るくなり日の出を見る事が出来る。今年も1年間怪我なく登山出来る事を
 祈る。
 （文責：小池）





本日計 37,000円 累計 2,226,000円

- 小西敏文 君 先週21日の創立35周年記念例会には実行委員の皆様又会員の皆様には大変お世話になり、無事終わることが出来ました。ご協力感謝します。又、本日卓話の産経新聞大阪正論室長河村直哉様、宜しく願います。
- 植倉一正 君 35周年記念式典・祝宴なんとか終える事ができました。ご協力感謝致します。また、河村様、本日は卓話ありがとうございます。
- 小池恭弘 君 (創立35周年実行委員長) 今年度の小西会長方針である創立35周年記念事業を成功させる、が無事に終わりました 会員の皆様方のご協力に感謝致します。
- 平野貞治 君 創立35周年例会に出席出来ず申し訳ありません
- 飯田二昭 君 誕生日を祝っていただき有難うございます。
- 渡辺英孝 君 結婚お祝いのキレイなバラの花ありがとうございました。43年目に成ります。又、1/14日は私の誕生日で、ダブルお祝い月です。ありがとうございます。
- 武中洋勝 君 バラの花束に家内ニコニコ 結婚記念のお祝い有難うございました
- 高野 治 君 本日から復帰させていただきます。長らくご迷惑をおかけして、申し訳ありません。
- 矢追家麻呂君 ニコニコ協力
- 鈴木浩之 君 ニコニコ協力
- 西口栄一 君 ニコニコ協力
- 藤井正勝 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

2 月

■京都山城ロータリークラブ■

- ・ 2月26日(水)・・・12:30-13:30 (ATR会議室へ)
例会場変更の連絡を致しましたが、都合により、通常通り訂正し、けいはんな5Fにて例会を開催致します。

次週の例会

平成26年2月11日(火) 休会

次々週の例会

平成26年2月18日(火)

会員卓話 講師 増井義久

テーマ「ロータアクトクラブについて」